

静岡県教育長賞

年のはなれたお友達

静岡市立東豊田中学校 一年

近藤 暖



私には、七十二歳年のはなれたお友達がいる。それは近所に住む信賀さんだ。信賀さんとは、毎朝近くの公園で行われているラジオ体操で知り合った。毎朝「おはようございます。」とあいさつしているうちに仲良くなり、たくさんお話するようになった。信賀さんは今、たくさん植物を大切に育てたり、絵を描いたり、自分の好きなことで毎日が充実していてとても楽しそうだ。信賀さんの家の庭は一年中きれいに保たれ、植物が生き生きとしている。

信賀さんはよく手紙を書いてくれる。美しい字ときれいに色づけされた素敵なスケッチ。私はとてもうれしくて、お返事を書く。お礼や最近あった出来事、庭の様子など、手紙を書くのも読むのも楽しいし、元気をもらっている。時には、手紙と一緒に庭でとれた野菜や手料理のおすそわけ、植物の苗をいただくこともある。

また、私は時間があれば信賀さんの家へ行き、庭仕事を手伝っている。重い物を持ったり、物を運んだり、一人では大変なこ

とを二人で協力してやると作業がスムーズに進む。作業しながらたくさんお話して、笑って、楽しい時間を過ごしている。「暖ちゃんといると元気になるよ。」

と信賀さんはよく言ってくれる。私も同じ気持ちだ。

信賀さんは、公民館の花のお世話もしている。私もさそわれ、一緒に水やりをした。水やりのバケツはとても重くて、持つのが大変だった。こんな大変な作業を一人でやっていたんだとおどろき、なるべく私も手伝おうと思った。また、ある時は近所の放置された空き地を手入れしていた。私も一緒に草取りをして除草剤をまいた。きれいになったところをみて、とても清々しく感じた。

おもいかえしてみると近所には、ゴミ回収日にゴミ置き場を整理してくださる人、みんなの通る道をきれいにしてくださる人。地域のために自分のできることをしてくださる、思いやりのある人がいらっしやる。私たちはこの人たちの行動によって気持ちよく暮らすことができているんだと思う。

私は、信賀さんとの出会いを通して、今まで気付かなかったことに気付くことができた。信賀さんと出会っていなかったら、こんな体験はできなかったのでも感謝している。これから信賀さんや地域の人の関わりを大切にして、たくさんの方を気付ける人になりたい。

